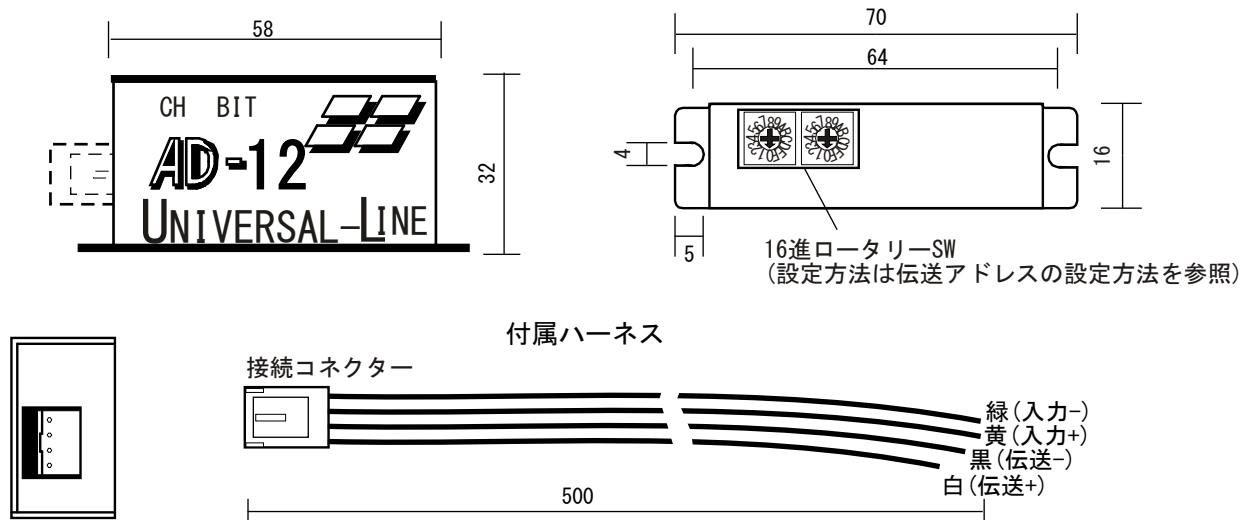
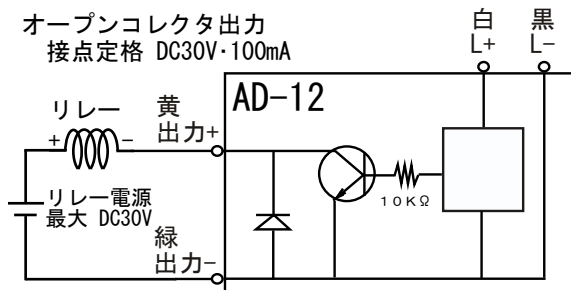


伝送ラインの信号を全アドレスチェックして異常を検知するユニットです。
 常時ONにしている任意の1アドレス(001~256)と伝送波形を監視し、正常時にトランジスタ出力します。この出力を利用して正常または異常を告知することが可能です。

リレー・ブザー等の負荷を接続し、他の伝送ユニット(基板)の電源を共用する場合は、必ず負荷を一次側に設置してください。



内部回路 (L-と入力コモンは内部共通です。)



リレー等を使用する場合は、図のように必ず+側(黄色)に置いてください。
 定格を超える電源線は絶対に接続しないでください。

異常検出(出力OFF)の契機

- 伝送ラインの異常
断線・短絡・親機停電
 - ノイズによる通信異常
 - 設定アドレスがOFF
 - AD-12接続コネクタの異常
脱落・接触不良
- いずれも復旧するまで出力をOFFします。

仕様

電源電圧	不要(伝送ラインより供給)
消費電流	2mA
動作環境	-10°C~60°C(結露なきこと)
制御出力定格	DC 30V・100mA
設定可能アドレス	001(01 HEX)~256(FF HEX)
寸法(mm)	横70×縦32×高16
質量	約80g
材質	鉄